

令和7年度 第66回山形県高等学校新人体育大会柔道競技
実施要項

- 1 主催 山形県高等学校体育連盟 山形県教育委員会 (公財)山形県スポーツ協会
- 2 後援 上山市 上山市教育委員会
- 3 主管 山形県高等学校体育連盟柔道専門部 山形県柔道連盟 上山地区柔道連盟
- 4 期日 11月1日(土) 計 量 10時00分～10時50分(男女個人選手)
※時間内計量
審判監督会議 11時00分～11時30分
開会式 11時40分～
競技開始 12時00分～(男女個人試合)～表彰式
11月2日(日) 審判監督打合 9時00分～
競技開始 9時30分～(男女団体試合)～閉会式
- 5 会場 上山市体育文化センター 〒999-3241 上山市けやきの森2番-1号 TEL 023-673-2288

6 競技規則

(1) 試合は国際柔道連盟試合審判規程による。

(2) 「優勢勝ち」の判定基準

ア 団体試合は、「有効」以上または「僅差」(「指導」差2)とする。チームの内容が同等場合は、代表選手を任意に選出して代表戦を行う。代表戦で得点差がない場合、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

※代表戦における優勢勝ちの判定基準は「有効」以上または「僅差」(「指導」差2)とする。

ただし、勝敗が決しない場合は延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

延長戦の判定基準・実施方法は個人試合に準ずる。

イ 個人試合は、「有効」以上または「僅差」(「指導」差2)とする。得点差がない場合は、延長戦(ゴールデンスコア)により勝敗を決する。

(3) 個人試合において「同時反則負け」の場合、次の試合の出場者は、延長戦(ゴールデンスコア)によって決める。

(4) 試合時間は団体、個人とも4分間とする。延長戦(ゴールデンスコア)は、無制限とする。

(5) 柔道衣コントロールは一斉に行う。試合中に違反が発覚した場合は、「反則負け」となる。

7 競技方法

(1) 男子団体試合

① 試合はトーナメント法で実施する。

② 3位チーム同士でシード順位決定戦を行う。

③ チームの勝敗の決定は次による。

ア 勝ち数の多いチームを勝ちとする。

イ アで同等の場合は、「一本」による勝ち数の多いチームを勝ちとする。

ウ イで同等の場合は、「技有」による優勢勝ち数の多いチームを勝ちとする。

エ ウで同等の場合は、「有効」による優勢勝ち数の多いチームを勝ちとする。

オ エで同等の場合は、「僅差」(「指導」差2)勝ち数の多いチームを勝ちとする。

カ オで同等の場合は、引き分けとし、代表戦を行い決める。

(2) 男子個人試合

① 体重別試合とし、トーナメント法で実施し、3位同士でシード順位決定戦を行う。

② 1位、2位が強化指定選手となる。

(3) 女子団体試合

① 試合はトーナメント法で実施する。

② 3位チーム同士でシード順位決定戦を行う。

③ チームの勝敗の決定は、男子と同じとする。

(4) 女子個人試合

① 体重別試合とし、トーナメント法で実施し、3位同士でシード順位決定戦を行う。

② 1位、2位が強化指定選手となる。

8 参加資格

基本要項に準ずる。

9 参加制限

(1) 男子団体試合

- ① 各校1チームとする。
- ② 試合は5人の点取り試合とする。チームは監督1名、選手8名を申込み（登録）、2日目監督会議前に、オーダー用紙に選手5名と補欠1名を記入し提出すること。
- ③ オーダーが5人未満の場合は後ろ詰めとする。

(2) 男子個人試合

- ① 体重別試合とし、次の7階級とする。
60kg級、66kg級、73kg級、81kg級、90kg級、100kg級、100kg超級
- ② 選手は各地区予選を経た者とする。
- ③ 各校から同一階級に出場できる選手は4名までとする。

(3) 女子団体試合

- ① 各校1チームとする。
- ② 試合は3人の点取り試合とする。チームは監督1名、選手6名を申込み（登録）、2日目監督会議前に、オーダー用紙に選手3名と補欠1名を記入し提出すること。
- ③ オーダーが3人未満の場合は後ろ詰めとする。

(4) 女子個人試合

- ① 体重別試合とし、次の7階級とする。
48kg級、52kg級、57kg級、63kg級、70kg級、78kg級、78kg超級
- ② 選手は各地区予選を経た者とする。
- ③ 各校から同一階級に出場できる選手は4名までとする。

(5) 脳震盪の対応について

- ① 大会前1ヶ月以内に脳震盪を受傷した者は、脳神経外科の診察を受け、出場の許可を得ること。
- ② 大会中、脳震盪を受傷した者は、継続して当該大会に出場することは不可とする。

10 参加申込

- (1) 基本要項に準ずる。
- (2) 但しメールによる専門部への参加申込は9月26日(金)12時まで「各地区理事」宛に申し込むこと
- (3) 「公印のある参加申込書」は大会初日(11/1)に学校受付へ提出すること。

11 参加料

- ・男子団体1チーム 3,000円
- ・女子団体1チーム 2,000円
- ・男女個人1人 400円
- ・参加料は下記口座へ、9月29日(月)まで振り込むこと。ただし、手数料は各校負担。
荘内銀行鶴岡西支店 普通口座 口座番号1096858
ヤマガタケンコウタイレンジュウドウセンモンブ

12 組合せ

(1) 団体試合

- ① 男子は令和7年度県高校総体柔道大会ベスト4、各地区1位の順にシードする。
- ② 女子は令和7年度県高校総体柔道大会1・2位、各地区1位の順にシードする。
- ③ 同地区が各ブロックにベスト4等、可能な限りバランスよく入るように組み合わせる。

(2) 個人試合

- ① 強化指定選手(※の選手)、地区1位の順にシードする。
※板垣宙伸(米興) 土屋英多郎(米中) 石川騰治(山南) 梅津的居(山工) 松田太陽(山工)
直島暖磨(米中) 大浦希友(山工) 斉藤鈴(羽黒) 丸野心羽(羽黒) 柳澤未梨愛(羽黒)
渋谷海遥(羽黒) 伊藤ひな(山中)
- ② 同一校から2名以上出場の場合は、少なくとも準決勝まで対戦しないように配慮する。
- ③ 同地区が各ブロックにベスト4等、可能な限りバランスよく入るように組み合わせる。

- (3) 組合せ抽選日(予定) 10月3日(金) 於; 酒田南高校 各地区理事による代表抽選とする。
- (4) 決定した組合せについては各校顧問に連絡する期日までに、各地区理事に異議などの申し立てを行うこと。それ以降の申し立ては受け付けない

13 連絡事項

- (1) 男女団体試合の監督は、模造紙縦1/4(27cm)にて、右より縦書き(巾約13cm) 学校名、大将、副将の順(女子は副将、次鋒をあける)に選手名を記入し、オーダー表とともに2日目監督会議前に角封筒に入れて提出すること。
- (2) 団体チーム及び個人の監督は、男女が同一にならないようにすること。また、試合中における「監督の

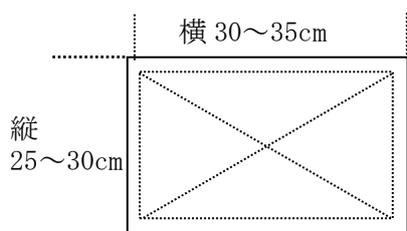
行為・言動」、「罰則規定」については、十分理解しておくこと。

(3) 前年度の男女の優勝校、及び個人優勝者の学校は優勝カップを持参し返還を行うこと。

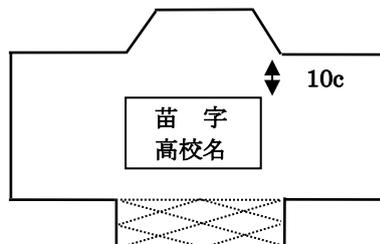
1.4 その他

- 本大会の個人試合で、各階級決勝戦に進んだ者は、強化指定選手（任期は次年度国スポ県予選まで）とする。
- この大会は、国スポ選手選考の参考資料となる。
- 計量にパスしない者、ゼッケンのついていない者は出場の資格を失う。
- 途中棄権する場合は、競技委員長に申し出ること。
- ゼッケンについて

(図1) ゼッケンの縫い付け方



(図2) ゼッケンの位置



- ①布地は晒太綾（さらしふとあや）を使用する。
 - ②図2の位置に、図1の点線の部分を強い糸で縫い付ける。（縦横ならびに対角線）
 - ③苗字（姓）は、上側2/3 学校名は下側1/3とする。
 - ④男子は黒字、女子は赤字で書く。
 - ⑤サイズは横30～35cm、縦25～30cmとする。
- 女子のTシャツは無地白色とし、ワンポイントのマークは可とする。